



趣味を通じた生きがいがづくり

十人十色

田村 美葉
会社員

【たむら・みは】1984年金沢市出身。東京大学文学部(美学藝術学専修)卒業。エスカレーター愛好家として、専門サイト「東京エスカレーター」を運営する他、「マツコの知らなすぎる世界」(TBSテレビ系)等多数のメディアに掲載・出演をしている。



©大山 顕

Vol. 4

エスカレーター

エスカレーターで広がった世界

——エスカレーター(以下:ESL)に興味を持った経緯を教えてください。

大学進学のため金沢から上京した際に、横浜のランドマークプラザでスパイラル(曲がる)ESLを見たことがきっかけです。その後、地下鉄の利用等で日常的にESLに乗るようになり、東京には地元金沢にはない様々なタイプのESL(一人



横浜ランドマークプラザのスパイラルESL

乗りタイプのものや、長いもの、デザインにこだわったもの)が多いことに気づいて、収集と分類を始めました。

——ESLの何処に惹きつけられますか。他の移動手段にはない魅力とは何でしょうか。

私の好みとして、「ずっと動き続けているもの」が好きだ、という感覚があります。エレベーターや電車は、「レールに沿ってハコが動く、それに人が乗る」わけですが、ESLの場合、レールの上に乗っているのは自分自身なわけです。同じ理由で、回転展望レストランも好きです。

——探訪先はどのようにして見つけられるのですか。

スパイラルESLの設置箇所リストを入手したので、現在は暇を見つけるとその場所を中心とした旅行計画を立てることから始まります。特に海外に行く時はインターネット検索をして、めぼしいESLを見つけておきます。話題のスポットや新しくできた注目の場所は素敵なESLが多いので、最新の旅行ガイドブックで調べることもあります。国内の場合は、古いESLがありそうな場所はだいたいわかっているので、それらも合わせてチェックします。Twitter等で情報を教えてもらえることもあります。

——お気に入りのスポット、メーカーや型はありますか。

スパイラルESLは、世界で三菱電機だけが作れるものな

ので、ファンの満場一致で至高の製品だと思えます。技術力でも三菱電機は世界的に突出しており、異論の挟まれる余地はほぼありません。私にとって、初めてスパイラルESLに出会ったランドマークプラザはやはり思い出深いスポットです。それに、世界初のESLメーカーであるオーチス社も好きです。恐らくオーチス製だと思いますが、ニューヨークのメイシーズデパートにある木製ESLもはずせません。実際に出会った時には感動しました。個人的には、ESLとエレベーターの専門メーカーであるフジテックも応援しています。

——撮影される時のこだわりはありますか。

正面から、水平・垂直を意識して撮ることです。

——ESLの魅力を伝える活動はされていますか。

WEBサイトを運営することと、年に2回同人誌を発行することがライフワークとなっています。

——他のESL愛好家や製造メーカーの方々と交流されることはありますか。

同人誌をコミックマーケットで頒布していますが、そこにESLファンの方やメーカーの方がよくいらっしゃいます。以前はESL巡りのツアー等を開催し、そこにもファンの方やメーカーの方が来て下さいました。他には、古いデパートやスーパーを巡っている方たちとは情報交換をします。三菱電機の稲沢製作所からはお招きいただいて2回見学に行ったことがあります。

——この趣味を始められて、変化したことはありますか。

それまで旅行や観光にあまり興味がなかったのですが、よく旅に出るようになり、世界が広がりました。

——今後ESLとはどう関わっていきたいですか。

まだ見ぬ素敵なESLが世界にたくさんあると信じて、収集・分類の旅を続けたいと思います。



おススメのロイズオプロンドンのESL
「死ぬ前に一度は見に行ってもいいんじゃないかな」